

## エジプト・日本教育パートナーシップ (EJEP)

### エジプトの若者の能力強化

#### －日本式教育の導入－

アブドゥルファッターハ・エルシーシ・エジプト・アラブ共和国大統領による 2016 年 2 月 28 日から 3 月 2 日にかけての日本公式訪問の機会に、安倍晋三総理及びエルシーシ大統領は、テロリズムと過激主義との闘いと平和・安定・発展及び繁栄の促進に対する両国の取組みの重要な柱として、エジプトの若者の能力強化を目的とした教育に関する共同パートナーシップ「エジプト・日本教育パートナーシップ」(EJEP) を発表した。

本パートナーシップは、安倍総理とエルシーシ大統領の強い関心と意思のもとに実現したものである。両首脳は、就学前教育、基礎教育、技術教育、高等教育さらには学術研究・科学技術イノベーションも含めた教育分野における協力を優先度の高いものとした。両首脳は、この両国間で合意したパートナーシップに盛り込まれた政策を実施していくことを決意した。

本パートナーシップの下、両国政府は以下に挙げる分野に焦点を当てる。

#### 1. 日本に派遣されるエジプト人留学生・研修生数の拡大

過去約 50 年間に、日本に留学、または研修を受けてきたエジプト人は 8000 人以上に上る。その多くはエジプトに帰国後、閣僚、大学教授、研究者や実業家等として、極めて重要な地位を占めている。最近数年間では、毎年約 200 人のエジプト人が長期、短期の留学や研修で日本に派遣されている。

エルシーシ大統領の訪日を機会に、両国政府は、今後 5 年間で少なくとも 2,500 人のエジプト人、特に学生、研究者、教員、政府職員を、教育または保健分野を中心に日本に派遣し、エジプト政府の発展と改革計画の実現及びエジプトの未来ある若者の能力強化に対する努力に貢献することを発表した。日本政府は、この目的を達成するため留学生借款を含む必要とされる可能なあらゆる手法を通じて、エジプト政府に対し必要な支援を行う重要性を認識した。

#### 2. エジプトでの日本式教育の導入

エジプト政府は、学校での諸活動や学校運営を始めとした日本式教育の要素を特別活動（特活）などの日本の経験やノウハウに基づいてエジプトで導入す

ることにより、道徳心や規律、協調性をエジプトの若者の間に醸成することに着目した学校活動を発展させることに強い関心を表明した。日本政府は、これに関するエジプト政府の努力を全面的に支援する。

両国政府はまた、本パートナーシップの枠組み内において、様々な段階で日本語教育を拡大することの重要性を強調した。

### 3. エジプトにおける「特活」の推進

特別活動（特活）は、社会的、情緒的、感情的、身体的及び知的側面からバランスのとれた子供の発達を目的とした日本式教育課程の基本的構成要素であり、生徒間の積極的な学び合いを促進するため、文化やスポーツ関連の学校行事や学級における教師と子供たちとの双方向の話し合い等の活動を通じて行われるものである。エジプト政府は、エジプトにおいて特別活動を導入することに強い関心を表明した。エジプト政府からの要請に対し、日本政府はエジプトの学校において「特活」を推進していく。

### 4. 日本式教育を適用するモデル校

エジプト政府は、就学前教育及び基礎教育段階における既存校のうち数校及び新設校と、既存の技術学校のうち数校を、日本式教育を適用するモデル校として指定することとした。日本政府は、これらのモデル校に対し、必要とされる、専門家やボランティア、教員の派遣、また必要に応じ機材の供与により支援する。これらのモデル校は、双方の合意により指定されるものとする。

### 5. 教員・指導者の能力向上

教育は、教員から生徒への知識の伝達のみを意味するのではなく、個人の人格形成を目指すものであるとの確信の下、本パートナーシップは教員と生徒の人間的な交流の中で実現されていくものである。このことを念頭に置きつつ、また自己の使命を自覚し、自己研鑽を継続することが教員・指導者にとって重要であるとの認識を共有し、エジプト政府及び日本政府は、教員・指導者の能力向上の分野で協力を強化していく。エジプト人の教員・指導者には、日本及びエジプトにおいて研修機会が提供される。

## 6. 学校運営及び学校における教育活動の改善

日本政府は、教育省、各県の教育行政部を始めとしたエジプト関係当局の学校運営や学校における教育活動やプログラムの改善の努力を支援する。

## 7. エジプトにおける体育科目及び音楽科目の推進

両政府は、特に体育及び音楽の重要性と共に、これらの科目が人格形成及び規律心の醸成に資する教科として扱われるべきことを強調した。日本政府は、教員経験のあるボランティアの派遣を通じ、こうしたエジプト政府の努力を支援する。

## 8. 保育園及び幼稚園における「遊びを通じた学び」の推進

過去20年の間、70人を超える JICA ボランティアがエジプトの幼児教育分野で活動してきており、経験とノウハウを積み重ねてきている。日本及びエジプトは、エジプトにおいて「遊びを通じた学び」の適用によるよりよい子供の成長のための実践の全国的な普及を加速する。

## 9. 技術教育分野における協力

日本政府及びエジプト政府は、若者が職を得、将来よりよい生活を送り、以て社会や地域に貢献するために、実践的で効果的な技術教育の推進が重要であるとの認識を共有する。日本式の技術教育の導入に関する協力は、エジプトで活動する日本企業をはじめとする産業界と連携しつつ、実施される。

## 10. エジプト政府による教育分野の政策目標の策定

エジプト政府は、上述の日本式教育プログラムを導入・実施していくために、モデル校への支援、教員・指導者の能力向上及び学校運営と学校活動の改善など日本式教育の導入の観点からの教育分野の政策目標を日本政府との緊密な協議しつつ設定する。この目的のため、双方による協議を通じて日本式の学校建設を含めあらゆる可能な手法を活用していく。日本政府は EJET の履行に必要な円借款を含む可能な手段を検討する。

### 1 1. E-JUST の推進

エジプト日本科学技術大学 (E-JUST) は、エジプト政府と日本政府との間で 2009 年に締結された二国間協定によって設立された。E-JUST は二国間協力の礎石となってきた。日本政府は E-JUST に対し、専門家や大学教員の長期または短期の派遣や研究・活動に必要な機器の供与等様々な支援を行ってきた。これらの実績及び理解に基づき、双方は、エジプト側による日本の技術を活用した新しい環境配慮型キャンパスの建設、2017-2018 年度に開講予定の工学部及び国際ビジネス・人文学部の設置及び両国間での学生・教授陣の交流など、E-JUST を支援し強化する決意を改めて強調し強調した。

### 1 2. エジプト・日本教育パートナーシップ (EJEP) に関する運営委員会

エジプト政府及び日本政府は、本教育パートナーシップ実施に関し、政策調整、フォローアップ及び定期的な評価を目的とした合同運営委員会を設立した。本運営委員会の下には、両国政府の関係政府高官で構成される二つの執行委員会が設置された。一つの執行委員会は、本パートナーシップの基礎教育及び技術教育に関する事項についての準備、調整、実施及びフォローアップに関する事項を管轄する。もう一方の執行委員会は、留学生借款による奨学金を含め、カテゴリごとの人数配分、募集・選考・準備から留学生の派遣にいたる全体プロセスの運営やプログラムの評価など日本に派遣される増加分のエジプト人留学生の選考に関する事項を管轄し、必要な決定を行う。両国政府は、本パートナーシップに盛り込まれた活動に関する事項につき議論し、双方の合意の下での円滑な実施を確実にするため、運営委員会及び執行委員会を定期的開催することで一致した。